

平成25年9月 台風18号 出水概要

9月13日に小笠原近海で発生した台風18号は、日本の南海上を北上し、大型の勢力を保ったまま16日8時前に愛知県豊橋市付近に上陸した後、本州中部を北東に進んだ。
この台風を取り巻く雨雲や湿った空気が次々と流れ込んだため、大阪管内では近畿地方北部と中部や紀伊半島南部を中心に記録的な大雨となった。このため、16日5時05分に京都府と滋賀県に大雨特別警報を発表した。(大阪管区气象台発表)

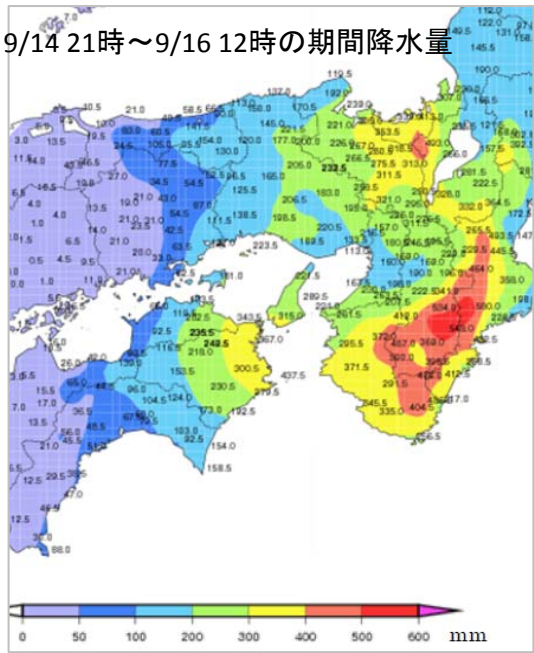
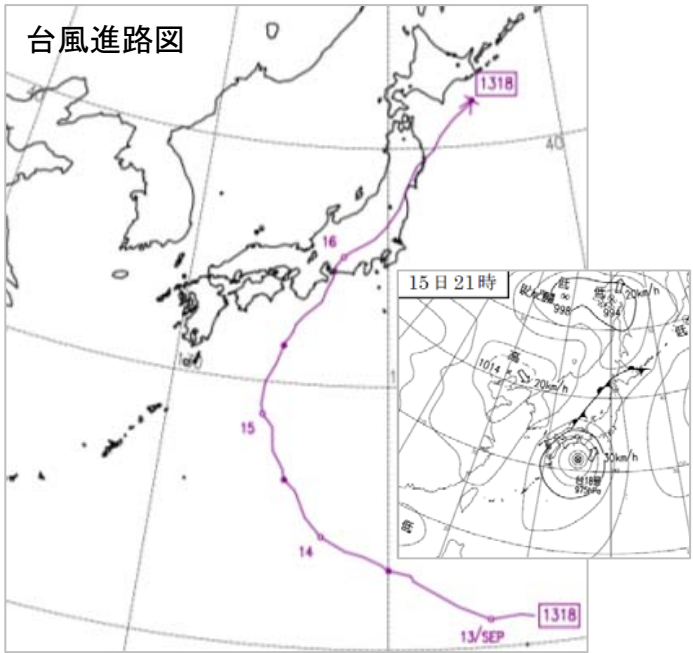
- ◎平成16年10月台風21号出水に次ぐ9番目の出水
 - ◎猪名川流域平均累加雨量 240.7mm
 - ◎時間最大雨量 16日1:00 35mm(倉垣、余野)
 - ◎小戸最高水位 3.12m(16日4:10暫定値)
 - ◎河川管理施設等への被害は特になし

～概況～

猪名川流域では降り始めの9月15日3時から16日16時までの総雨量は、上池田(事務所)で170.0mm、園田(出張所)で153.0mm、能勢町倉垣で343.0mm、豊能町余野で338.0mm、川西市一庫で254.0mm、を観測するなど各地で記録的な大雨となった。

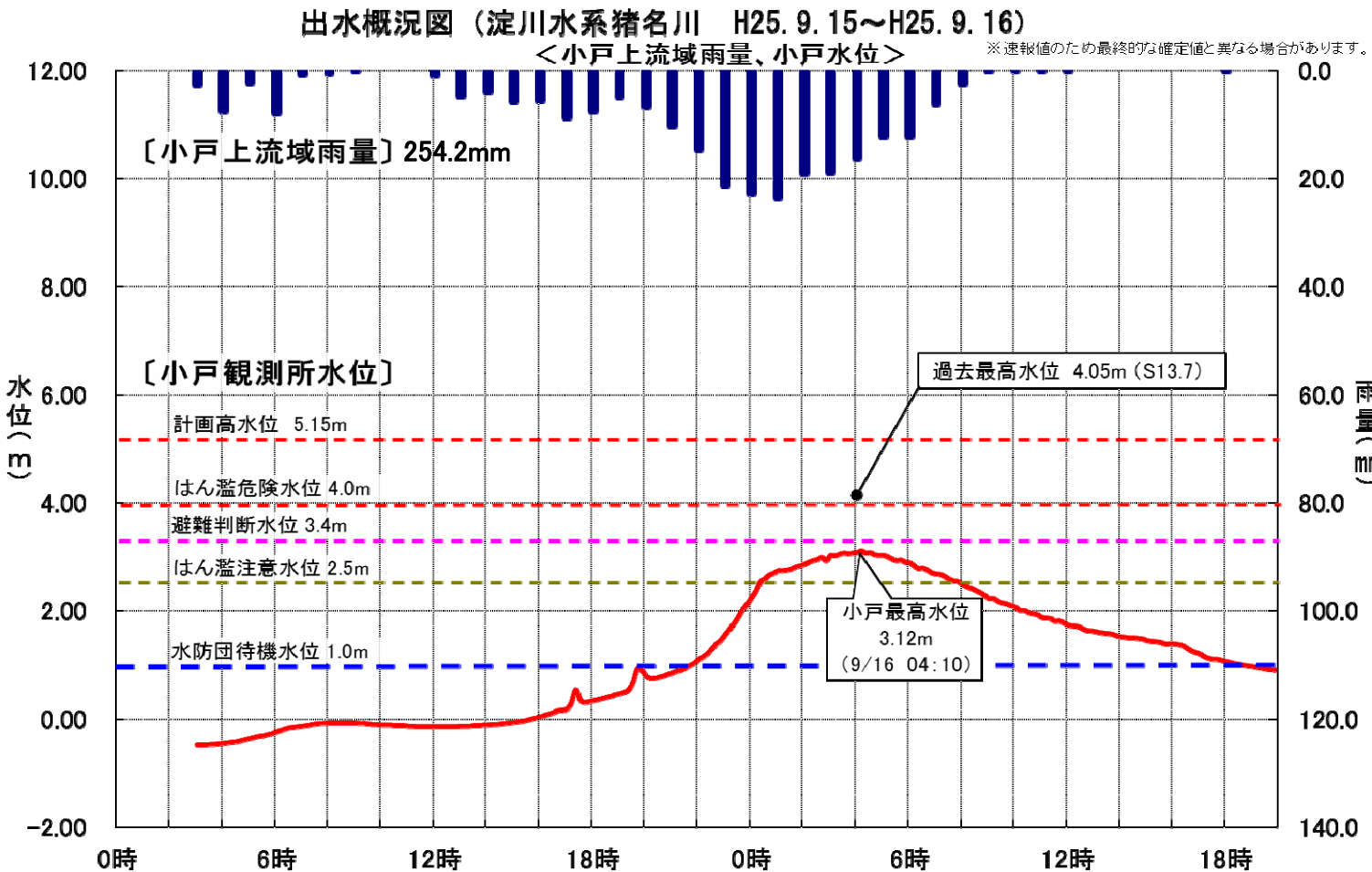
また、台風による最大瞬間風速は、16日5時12分に神戸市で北北西の風38.3m/sを観測するなど各地で暴風が吹いた。

この台風の影響で、猪名川での出水としては、平成16年台風21号出水に次ぐ、9番目の水位の出水となった。



基準地点における既往主要出水一覧

		1	2	5	6	4	3	7	10	8	9
洪水名		昭和13年 7月	昭和28年 9月	昭和35年 8月	昭和42年 7月	昭和47年 7月	昭和47年 9月	昭和58年 9月	平成元年 9月	平成16年 10月	平成25年 9月
小戸	日	5	25	30	9	12	16	28	3	20	16
	時	13	18	1	22	20	22	17	9	19	4
	分	30	30	00	30	30	50	20	00	00	10
	水位 (m) 水防団待機水位 (指定) 1.0m はん濫注意水位 (警戒) 2.5m	4.05	3.80	3.45	3.35	3.49	3.67	3.33	3.01	3.21	3.12
	流量 (m ³ /s)	1,870	1,645	1,360	1,363	1,190	1,317	1,362.2	835	1014.5	
軍行橋	日			30	9	12	16	28	3	20	16
	時			1	22	21	23	17	8	19	4
	分			00	30	00	00	00	40	00	10
	水位 (m) 水防団待機水位 (指定) 1.5m はん濫注意水位 (警戒) 3.0m			4.30	4.10	3.27	3.59	3.76	3.45	4.42	4.23
	流量 (m ³ /s)			1,390	1,370	1,046	1,337	1,568.6	694	1377.8	
摘要								S 推 5 定 8 は			



被災状況位置図



台風18号出水による河道の変化状況

① 北伊丹レキ河原再生箇所（8.0k付近）

出水により、右岸側にも滞筋が発生し、写真奥の礫河原は、植生が流出し、範囲が拡大した。



出水前 (H25.6.18)



出水中 (H25.9.16)



出水後 (H25.9.24)



出水後の礫河原

② 猪名川大橋地区礫河原再生箇所（9.6k付近左岸）

昨年度の施工箇所である。出水により、礫が増加した。



出水前 (H25.3.9)



出水後 (H25.9.24)

③ 北河原地区河原再生試験施工地（6.8k付近左岸）

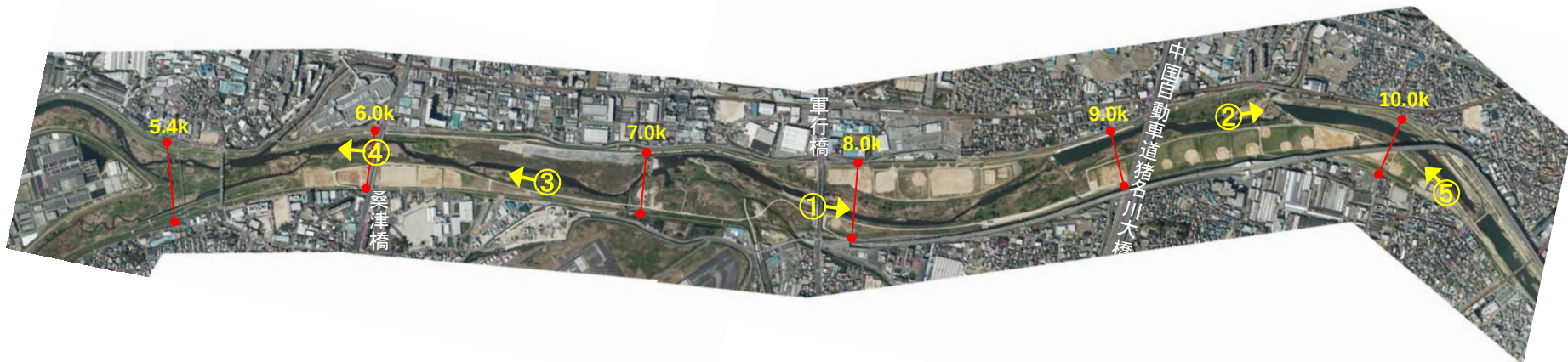
試験施工地は、全ての範囲で浸食が発生し、対岸に礫河原が出現した。



出水後 (H25.9.24) の試験施工地



出水後 (H25.9.24) の試験施工地対岸



（空中写真：H21.3撮影）

④ 桑津橋下流（6.0k付近）

出水により、植生が流出・倒伏し、礫河原が出現した。グラウンドには粒径5cm～拳大の河床材料が堆積している。



出水前 (H25.8.7)



出水後 (H25.9.24)



桑津橋直下の礫河原 (H25.9.24)



桑津橋下流左岸のグラウンド (H25.9.24)

⑤ 桃園地区（10.2k付近左岸）

出水により、粒径5cm～人頭大の砂礫が堆積した。



出水前 (H25.6.4)



出水後 (H25.9.21)